

# 令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業  
番号

20

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	生きがい対応通所事業						
予算科目	3 款 1 項 7 目						
予算事業名	介護保険事業費						
総合計画での位置づけ	高齢者が活躍するまちをつくる						
担当課	福祉課	担当課長	稲永 みき				
事業担当者	村上 蓮		一次評価者	阿部 哲也			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等	介護保険法						
事業の対象	介護保険の申請を行い自立と判定された者又は町長が同等と判定した家に閉じこもりがちな者で事業の利用が必要と認められた者						
事業の目的	高齢者の増加に伴い、今後要介護認定者数の増加が見込まれている。今後も、在宅での自立した生活を継続していくために、総合事業を拡充することで要介護状態への進行防止を図る。						
実施期間	開始年度	平成 28 年度から					
	終了年度	令和 年度まで					
事業の内容	ふれあいスクール:教養講座(健康・生きがい関係)、高齢者スポーツ活動、創作活動、趣味活動、日常動作訓練などの各種サービスの提供を行う。また、理学療法士等を講師として、体力測定を実施するなど、事業の評価も行う。						
目的達成の指標	要介護認定率						
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度	
	目標	%	13	13	13	13	
	実績	%	14.9	14.8	14.6		
指標設定の考え方	要介護認定率の推移を指標とすることで、事業の成果を把握できる。						
事業遂行時懸案事項等	利用者の高齢化により安全確保への取り組みと介護保険サービスに移行する際の事業所選定に関し、社会福祉協議会および地域包括支援センターとの連携を強化する必要がある。						
事業実施時懸案事項対応等	社会福祉協議会および地域包括支援センターと協議を重ね、利用者の個々の情報を共有していく。						

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,710 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	2.89	2.99	3.66	3.66
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	21,241	22,589	26,121	26,121
事業費	直接事業費	7,220	7,870	7,299	7,299
	人件費	21,241	22,589	26,121	26,121
	合計	28,461	30,459	33,420	33,420
財源内訳	国庫支出金	4,550	6,170	7,299	7,299
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,200	800	900	900
	一般財源	22,711	23,489	25,221	25,221
	合計	28,461	30,459	33,420	33,420

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目標	7,220	7,870	7,299	7,299	7,299
実績	7,219	7,474			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
事業の参加実人数	人	60	45	45	45
		58	45		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 3,299 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	2.89	2.99	3.66
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	20,770	22,589	28,881
事業費	直接事業費	7,219	7,870	7,474
	人件費	20,770	22,589	28,881
	合計	27,989	30,459	36,355
財源内訳	国庫支出金	6,147		6,788
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他	872	800	686
	一般財源	20,970	29,659	28,881
	合計	27,989	30,459	36,355

## 実施備忘録

自己評価	評価者	村上 蓮
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

<b>1. そもそも必要な事業か？</b>		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
<b>2. 町が実施する必要があるか？</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	A
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
<b>3. 実施内容は適切か？</b>			
<b>①有効性</b>			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
<b>②効率性</b>			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		4	
<b>③公平性・透明性</b>			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

**4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)**

高齢者の介護予防を目的に平成7年から開始している。平成28年度に総合事業に移行したことで、対象者や名称等が変わったが、介護予防と高齢者の生きがい交流の場として、必要性や有効性は高い。  
 利用者の減少を考え、週4日体制から週3日体制に変更するなど、効率性を考慮し、事業を実施している。  
 利用については、申請をいただき、基本チェックリストを実施し、必要性を介護係で検討し、社会福祉協議会とも連携して決定しているため、公平性や透明性も維持できている。

**5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識**

ふれあいスクールの利用者に関しては、送迎が必要な方を対象に案内しており、公民館に歩いて通える方は、地域デイサービスを案内している。そのため、ふれあいスクールの利用者は少なくなっているが、送迎が必要な方には、ふれあいスクールが有効な事業となっている。本町で行っている唯一の送迎付通所型サービスになっているため、より良い事業の継続を検討していきたい。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
②効率性			B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		3	
③公平性・透明性			B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

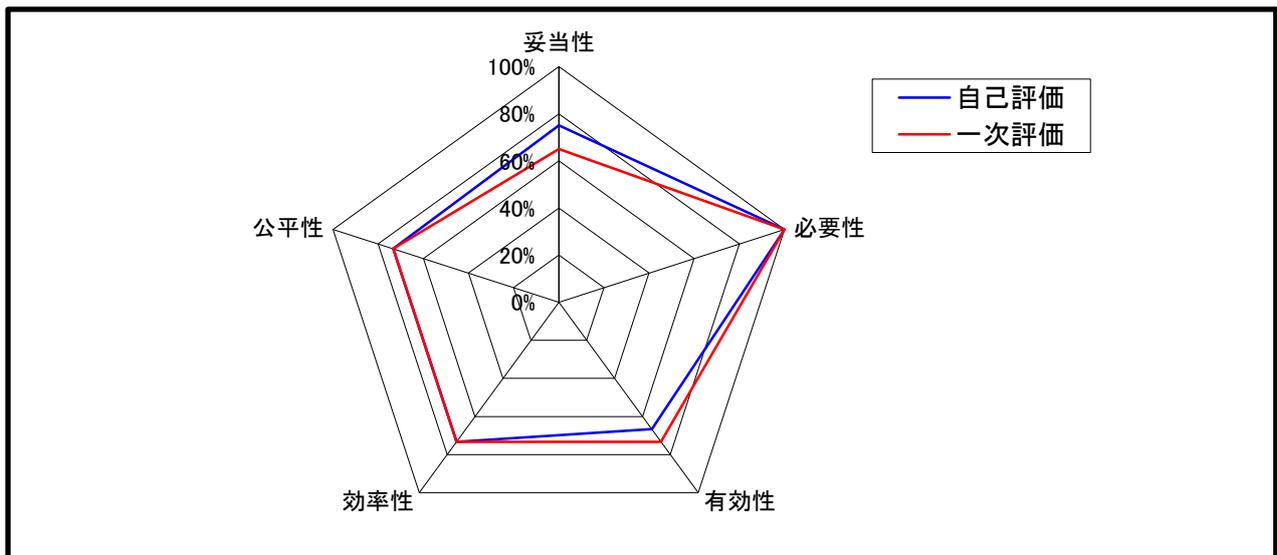


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

ふれあいスクールについては、地域デイサービスとの住み分けを行い、社会福祉協議会と連携して事業を行っている送迎付通所型サービスである。対象があまり歩けない状況の方等のための認知症予防事業であるので、事業の継続今後日数の変更等検討していく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	稲永 みき
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

歩行等が困難な高齢者の集まりの場であり、介護予防、認知症予防として必要な事業である。必要に応じ実施内容等協議しながら継続していく必要がある。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

## 外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 外部評価委員の意見

## 経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 経営者会議の評価

## 令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)